

平成23年度 福井型コミュニティ・スクール推進事業実施報告書

地域・学校協議会の活動推進キャッチフレーズ**あわら市(立)伊井小学校**

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	8回(のべ) 8日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	10人
授業ボランティア(含:低ボラ)	15人
登下校支援ボランティア	20人
その他()	人

(3) 特色ある活動

テーマ 「心の教育の充実」

～地域力を生かした道德教育の取り組み～

「生きる力」における「心の教育」の育成を図るため、本校では地域の素材や人材をはじめ、さまざまな地域の力を生かしながら心の教育を推進している。今年度は、道德の時間における地域・学校協議会のかかわりが大きかった。

重点項目決定でのかかわり

道德教育の重点項目を決める際、協議会での意見を参考にした。家庭や地域の実態や願いを知る上で、ここでの意見は大変参考となった。

地域資料の発掘・開発

児童が、道德的価値の自覚を深め、道德的实践力をつけるために、心に響く魅力的な資料の開発・発掘に努めた。資料の一つに、児童にとって身近な地域の題材や人材の活用がある。活用に当たり、地域や家庭によるアンケートや、地域・学校協議会から様々な情報を得ることにした。地域に住む人の目から、貴重な資料が集まった。

得た情報をもとに、学年の発達段階に応じた資料にし、授業を行った。今年度資料化したものとして、30年にわたり菊作りの研究を重ね多数の賞を受賞している方、毎日欠かさず見守り隊の活動をしている方、地域活性化のために盆踊りを復活させた方などがある。2年生の「菊作りの名人」の授業では、勤勉・努力を考える読み物自作資料を作成した。児童にとって身近な資料やゲストティーチャーの話は、資料の世界に入り価値を考える上で、効果的であった。

研究授業参観および研究会参加

研究授業の際には、協議会の方々にも参観していただいた。学校の道德教育の取り組みを地域に広げ、意見をいただく機会になっている。会員の方からは、「子を育てる」という共通の視点から、また、家庭や地域からの視点から、多くの貴重な意見をいただいた。

これまでも、協議会から「心の教育」に関する意見をいただいていたが、今年度は、道德の授業を行うにあたり、今まで以上に地域と連携した取り組みを行うことができた。



成果と課題

- ・家庭・地域に学校の道德教育について知らせることができ、協議会の方からいただいた意見を授業に生かすことができた。道德の授業に地域を生かすことで、自分たちの身近な出来事として資料を捉えることができ、価値を深めることができた。
- ・地域の宝について教職員の知識や理解が深まり、地域の人達との交流も深まってきている。
- ・課題として、地域・家庭への取り組みの広め方、学校・家庭・地域の連携の仕方などがあげられる。

A 4 版 1 ~ 2 枚程度で作成してください。